



民謡心千会が表敬訪問

民謡の大会で優勝

民謡心千会しんせんかいの岸田心千代表しんせんらは6月15日、池辺市長を表敬訪問し、日本郷土民謡協会が主催する「第40回茨城県大会」合唱の部で優勝したことを報告しました。団体だけでなく、会員個人も多数入賞し、岸田代表は茨城新聞社から優秀指導者賞も受賞しました。岸田代表は「優勝でき、驚いたのと嬉しい気持ちです」と話しました。



牛久市交通安全推進員に感謝状

交通安全に長年貢献

牛久市交通安全推進員連絡協議会会長として10年、牛久市交通安全推進員として20年の永きにわたり交通安全思想の普及に多大なる貢献をしたとして、市から沼尻政雄会長に感謝状が贈呈されました。

同連絡協議会は、交通安全対策の実践や活動の推進を図っています。



感謝状を受け取る沼尻会長

全日本選手権東関東連盟大会で優勝

牛久リトル、全日本大会へ

牛久リトル・メジャーチームは、5月に開催された「全日本選手権東関東連盟大会」で優勝しました。同チームは、6月16日に池辺市長を表敬訪問し、「第49回全日本リトルリーグ野球選手権大会」へ2年連続、5回目の出場を決めたことを報告しました。



全国大会へ向けて、中学1年生でキャプテンの植竹悠翔さん(写真中央)は「最後まで全力でプレーしていきます」と意気込みを語りました

おめでとう

大会結果

●2015年少林寺拳法茨城県大会兼全国大会予選会、全国中学生大会選考会大会結果

開催日：5月31日 259人参加  
場所：茨城県武道館

一般男子マスターズAの部(組演武)	
優秀賞	相馬弘宜・中村敏英
中学生男子の部(組演武)	
優秀賞	尾崎太一・中泉 蓮
中学生単独演武の部	
敢闘賞	遠西康男
小学生規定組演武(2級)の部	
優良賞	井坂光希・金山 暉



●牛久市長杯争奪 第4回牛久スポーツ吹矢大会

開催日：5月24日 87人参加  
場所：牛久運動公園メインアリーナ

上級クラス：三段～六段	
優勝	わたらい としお 渡井 敏雄
準優勝	あめみや のりお 雨宮 憲男
中級クラス：初段～二段	
優勝	のぐち つねお 野口 恒雄
準優勝	ちだ ひろし 千田 弘



上級クラス優勝の渡井さん(写真中央)は第1回大会から4連覇を達成しました

●市内高校野球大会



市内高校野球大会が、5月24日に行われ、決勝戦は東洋大附属牛久高校と県立牛久高校が熱戦を繰り広げました。東洋が6対1で牛久を破り、3年ぶりの優勝に輝きました。

大会結果

第1試合	東洋大牛久4:2 都立足立新田
第2試合	県立牛久2:1 牛久栄進
決勝	東洋大牛久6:1 県立牛久

保育園児と生産者が一緒に給食

## 今日のおやつは「河童西瓜！」

6月24日、市内の保育園のおやつに、「うしく河童西瓜」が出されました。

生産者の塩澤譲さん(福田町)とJA竜ヶ崎の川村敬さんが向原保育園を訪れ、園児たちと西瓜を食べながら歓談しました。

口いっぱい広がる上品な甘みとシャリシャリ感が自慢の「うしく河童西瓜」は、その品質により茨城県銘柄推進産地指定を受けている、いわゆるブランド野菜の一つです。

塩澤さんは「美味しいと言われてもらえて、本当にうれしい。これからは頑張って河童西瓜を作

り続けるよ」と、園児たちが西瓜を頬張る様子に目を細めていました。川村さんも、「ブランド農産物は大きな市場に出荷されるため、地元では買えないことが多いが、できるだけこのような機会をつくりたい」と、給食の地産地消推進に協力することを約束してくれました。

給食は、多くの人が力を合わせてつくっています。「牛久っ子が元気に育つように」という願いを込めて作物を育てる生産者の苦労が報われたおやつタイムとなりました。



1



2

1 園児たちと河童西瓜を食べる塩澤さん  
2 あいさつをするJA竜ヶ崎の川村さん(写真左)と生産者の塩澤さん(写真右)

学校給食で地産地消

## 牛久の小麦ですいとん

向台小学校は6月16日に、うしくグリーンファーム株式会社が栽培・製粉した牛久市産小麦粉を使った「すいとん汁」を学校給食で提供しました。牛久市では、「食とエネルギーの地産地消」を推進しています。

この日の献立は、ごはん、ぶた肉スタミナ炒め、すいとん、さくらんぼ、牛乳でした。すいとんを食べた子どもたちは「もち



もちした食感が好き」、「家で食べたすいとんよりもおいしい」など感想を口にしていました。

うしくグリーンファームは、「ゆめかおり」という品種の小麦を栽培しています。挽きたてのこの小麦を使用して、すいとんが調理されました。



青年海外協力隊の中田さんが表敬訪問

## ラオスのために

青年海外協力隊として、6月末にラオスに派遣された牛久市出身の中田実可子さんが、出発を前に市役所を表敬訪問しました。

中田さんは、「現地の人と一緒に、地域に貢献できるよう一生懸命頑張りたい」と話してくれました。中田さんは、ラオス・ビエンチャンに2年間赴任し、現地住民に英語レッスンなどを行う予定です。





## 「スローシティ」がつなぐ友好の輪

牛久市長を団長として、派遣市民団29人が6月25日から7月2日までの8日間、友好都市であるイタリア グレーヴェ・イン・キアンティ市を訪問しました。

グレーヴェ・イン・キアンティ市はスローシティ発祥の地であり、「ワインとスローシティのまちづくり」を進める牛久市と平成25年12月に友好都市を締結しました。

グレーヴェ市役所では盛大な歓迎会が開かれました。歓迎会では、ソッターニ市長や議員の方々から、今後の交流がますます発展することへの期待の言葉を一人ずついただくなど、市民団は温かい歓迎を受けました。

また、市民団は、グレーヴェ市にあるワイナリーやオリーブオイル工場などを見学、今後の市政運営に活用できる「スローシティ」の具体的な知識を深めることができました。

今回の訪問で、牛久市の市民団とグレーヴェ市の方々が楽しく交流することができ、さらなる友好関係構築への大きな足がかりとなりました。



1



2



3

- 1 市役所での歓迎会。牛久市からの記念品が並べられました
- 2 プレゼントのゆかたを着るソッターニ市長(写真右)
- 3 日の丸とイタリア国旗が掲げられたグレーヴェ市庁舎

ヴェラッツァーノ広場で  
パチリ★



4

- 4 グレーヴェ市の方々との夕食会。時間を忘れて歓談しました



5



6



7

- 5 「スローシティ」を体現する美しい風景
- 6 ヴェラッツァーノ城のワイナリー
- 7 オリーブオイル工場でパスタ作りについて説明を受ける市民団



常陽銀行が市へ寄付

地元企業がまちづくりに貢献



常陽銀行は、7月9日、同銀行の創立80周年記念事業として、牛久市に100万円を寄付してくださいました。

寄付金は、牛久駅東口駅前広場のモニュメント整備費用として使用されます。

モニュメントは、牛久市の友好都市であるイタリアのグレーヴェ・イン・キアンティ市から紹介していただいた、イタリア産のテラコッタ(装飾が施された素焼きの甕)が設置される予定です。

贈呈式に出席した同銀行牛久支店の柳田真嗣支店長、牛久東支店の鈴木俊裕支店長、ひたち野うしく支店の斎藤英二支店長は、「創立80周年の節目を契機に、地域の明るい未来創りに、より一層貢献したい」と話していました。



イメージ

パネルはイメージ。  
牛久駅東口駅前広場に飾られる甕本体の高さは約130cm。  
蓋と台座を入れるとおよそ210cmになる予定です。

1150号

2015年8月1日号  
平成27年8月1日発行

発行・編集 牛久市市民活動課  
〒300-1292  
茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111  
HP <http://www.city.ushiku.lg.jp/>  
FAX 029-873-2401



ひたち野牛久幼稚園のお友だち



さくら1くみ

ぜんいん かたち  
全員でおもちの形



さくら2くみ

まえ 1列目：かえるすわり 2列目：おうぎ  
いれつめ 3列目：忍者すわり 4列目：肩組み  
さんれつめ にんじゃ よんれつめ かたく

ひたち野牛久幼稚園のお友だちが、組体操を披露してくれました。  
この組体操は10月に行われる運動会のために練習しているもので、毎年、年長さんが7月から練習を重ね、本番ではさまざまな形を発表してくれます。  
本番でもいい演技ができるといいね。みんながんばってね！



牛久市は  
スローフードを  
応援しています。



再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。